

## アクリルアミド

別名:

$\text{CH}_2 = \text{CHCONH}_2$

劇物:(アクリルアミド)

(性状) 白色の結晶又は結晶性粉末。融点 $84.5$ 。エタノールに溶けやすい。水に極めて溶けやすい( $30$  で水 $100\text{ml}$ に $215.5\text{g}$ 溶ける)。

### 措 置

#### 漏 え い 時

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。飛散したものは、速やかに掃き集めて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

#### 出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

粉末、二酸化炭素等を用いて消火する。大規模火災の際には水噴霧、泡を用いる。消火作業の際には必ず保護具を着用する。

(消火剤)

泡(アルコール泡)、粉末、二酸化炭素、水

#### 暴 露・接 触 時

人体に対する影響

(吸入した場合)

吸入することは少ないが、万一吸入した場合は、口がもつれたり、発音がはっきりしなくなったり、手足がしびれ歩行困難を起こすことがある。

(皮膚に触れた場合)

放置すると皮膚を刺激し、皮膚がむける。また皮膚からも吸収され、吸入した場合と同様の中毒症状を起こす。

(眼に入った場合)

角膜等を刺激して炎症を起こす。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。

呼吸困難又は呼吸が停止している時は直ちに人工呼吸を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で十分に洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

### 注 意 事 項

直射日光や高温にさらされると重合・分解等を起こし、アンモニア等を発生する。

### 保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク

(火災時: 空気呼吸器又は青酸用隔離式防毒マスク)